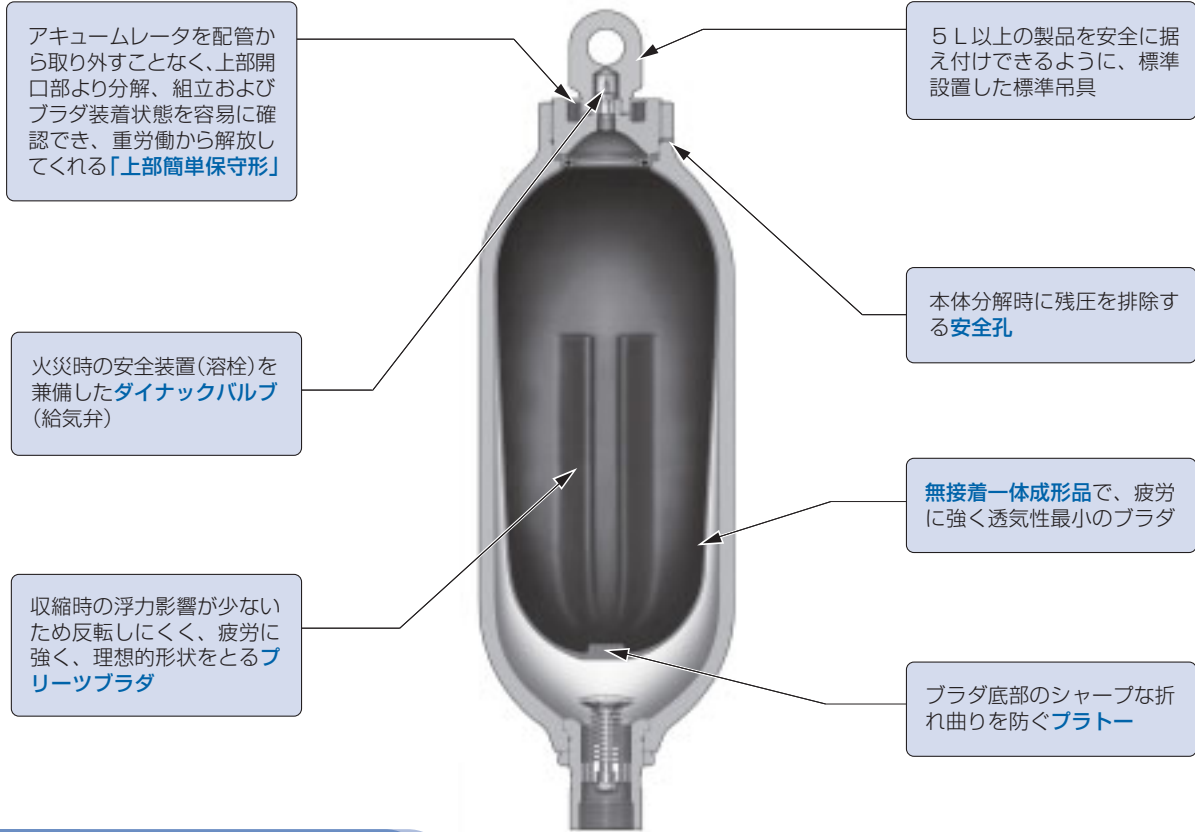




構造・特長



上部分解・上部組立・上部確認

NACOL 製アキュムレータは、内部開放検査やブラダ交換作業の重労働から解放してくれる「**上部簡単保守形**」のため、装置に取り付けたまま安全で、短時間で容易にこれらの作業が行えます。また、作業中に作動液体を飛散させることがないため、**環境に優しいアキュムレータ**です。

ブラダの破損原因となる装着不良（折れ曲がり、捻れ）が確認しにくい他社製上部分解形アキュムレータに比べ、

NACOL 製「**上部簡単保守形**」アキュムレータは、上部から容易にブラダの装着状態が確認でき、組立時のブラダ破損要因を未然に回避できます。

更に **NACOL** 製「**上部簡単保守形**」アキュムレータは、組立全長が低いいため、アキュムレータスタンドなどに設置したままでのトラック輸送が可能であり、車軸積載高さを抑えたトレーラー輸送に比べ、大幅に輸送費が削減できます。

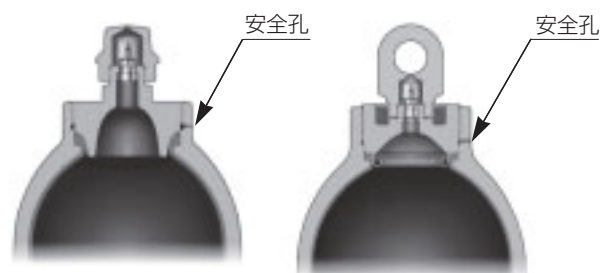


（ブラダ交換作業）



安全孔

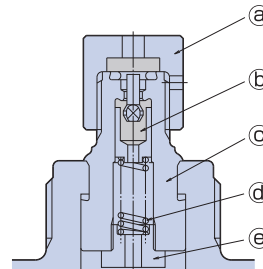
安全孔は、封入ガスを残存したまま誤ってアキュムレータが分解されても、分解完了前にこの孔からガスが放出され、噴射音で警告を発する、安全機構です。



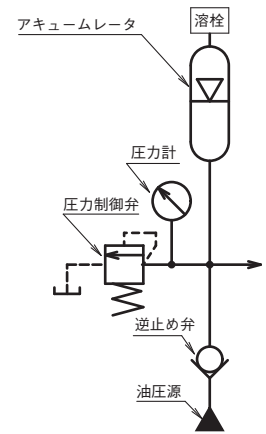
ダイナックバルブ

ダイナックバルブは、設定された温度(160±20℃)以上になると、部材③のパッキン部が溶解し、アキュムレータ内のガスを大気に放出する事ができる“溶栓”機能を兼ね備えた給気弁です。その為、液体側の圧力上昇を防止する圧力制御弁と併用する事により、高圧ガス保安法、一般高圧ガス保安規則第6条第19号の安全装置としてご使用頂けます。尚、アキュムレータは、コンビナート等保安規則の適用を受ける特定製造事業所のお客様に於きましては、都道府県への申請が必要です。

ダイナックバルブ



油圧回路図



記号	品名	品目番号
①	ヒューズパッキン付きキャップ	645024106A (G1/4用) 645025702A (G3/8用)
②	バルブステム付きパッキン	645026400A
③	バルブ本体	-
④	ばね	645045500
⑤	ばね受け	640074708

ブラダ

無接着一体形ブラダ

接着成形ブラダは、成形が容易なことからコストを抑えることができますが、張り合わせた部分の肉厚は厚めになり、硬度も変化することから、ブラダが変形する折り、常に接着部に局部的な力加わるため、疲労破損の原因となります。しかし、**NACOL** 製ブラダは、無接着一体成形品であることから、局部的な集中応力を受けにくく、長期間安定してご使用いただけます。

ブリーツ形ブラダ

ブラダは、内外圧の差圧で変形しますが、常に一番弱い(薄肉)部分を起点に変形が始まります。同じ部分が繰り返し変形するため、その変形部に発生しやすいシワや亀裂を抑え、局部疲労による破損を防止する必要があります。その点、**NACOL** 製ブラダは、独自のブリーツ構造や底部のプラトリーにより、変形時の断面が、丸みのある「湾曲三角星形」に保たれるため、集中応力を効果的に分散し、シワの発生を抑え、局部疲労によるブラダ破損を防止します。また、特に比重の大きい作動液(水成系、合成油系)使用時には、鉱油系に比べて大きな浮力をブラダが受けませんが、ブリーツ構造により、ブラダが軸方向に三角柱を形成するため、ブラダ底部が浮き上がる反転(Uターン)現象の発生を抑え、ブラダ破損を防止します。



注意：回転式給気三方弁を取り付けたままの作動は、厳禁です。
 本写真は、圧縮状態を判りやすく表現するため給気側に圧力計付き回転式給気三方弁を取り付けておりますが、ガス漏れの要因となり、作動不良やブラダ破損につながりますので回転式給気三方弁を外しキャップで確実にシールしてから作動を行ってください。
 なお、常時ガス側の圧力を確認される場合は、SGバルブ(詳細は、各シリーズの品目番号説明員をご覧ください。)付きアキュムレータをお勧め致します。